

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月19日更新

事務事業名		社会教育委員活動事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	辻 健一	
	施策	21	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	斉藤 明子	
	基本事業	66	学習の啓発			所属班	生涯学習班	(内線)	1513	
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10766	法令根拠	社会教育法 第15条		成果優先度評価結果	⑫
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)			
予算科目		成果削減優先度評価結果		⑥						

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	社会教育委員の活動に対する支援を行う。旧合志町・西合志町とも昭和26年度から、社会教育の振興のため設置された。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	社会教育委員会議を行い、市の生涯学習振興策への提言をいただく。また社会教育の各研修、大会に出席いただいて、先進的取組みを見聞いただき、本市の生涯学習の指針を検討いただく。
【主な予算費目】	報償費、旅費、需用費、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①社会教育委員会議の開催 ②各種社会教育研究大会等への参加	①社会教育委員会議の開催 ②各種社会教育研究大会等への参加
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:社会教育委員会議の回数	九州ブロック社会教育研究大会等への参加による旅費及び負担金の増
→ イ:研修会等参加回数	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
社会教育委員	→ ア:社会教育委員の数 (単位) 人
	→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
生涯学習の推進についての審議提言	→ ア:教育委員会からの諮問に対する答申の数 (単位) 件
	→ イ:
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
社会教育、生涯学習の事業に結びつけるために設定した。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込	
①活動指標	ア	回	2	1	2	4	3	3	3	3	
	イ	回	3	4	4	7	4	4	4	4	
②対象指標	ア	人	11	11	12	12	12	12	12	12	
	イ										
③成果指標	ア	件	0	0	1	0	1	1	1	1	
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	人件費	一般財源	千円	345	138	565	713	547	596		
		(A)事業費計	千円	345	138	565	713	547	596	0	0
		(A)のうち指定経費	千円	72	38	83	80	51	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	2	1	1	2	1	1	0	0
延べ業務時間	時間	130	100	100	1,050	100	100	0	0		
(B)人件費計	千円	529	398	398	4,183	398	398	0	0		
トータルコスト(A)+(B)	千円	874	536	963	4,896	945	994	0	0		

事務事業名	社会教育委員活動事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 生涯学習推進のために本年度はより審議、提言が求める機会が必要であるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 会議関係予算(報酬・費用弁償)や、研修関係予算(旅費等)の据え置きにより委員の研修機会が減少するため、成果向上は期待できない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似の事務事業がなく、連携統廃合が出来ない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要と思われる研修参加の機会も予算化が難しい状況であり、これ以上の削減は難しい。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果維持のため必要な業務を行っているため、公平公正である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 本市生涯学習事業全体の振興にかかわっているため、公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政施策に対する審議提言を市民の代表としていただくため、適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

通常開催の会議に加え、教育委員との合同会議を開催し、社会教育に関する意見交換等を行うことができた。また、本年度は委員長を含む3名の委員が全国及び熊本県の表彰を受賞され取組が評価された。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p>																						